NIE実践報告

１．タイトル：自分の考えを工夫してOUTPUTする

２．学校名

初芝立命館高等学校

３．実践者名（代表者名）

北　宏志

４．学年

第１学年立命館コース

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

地球市民科（総合的な学習の時間）・１４８人

６．単元（本時の学習課題）名

NIE講座（新聞に触れ合ってみよう！）

７．目標(狙い)

新聞に触れ合うことで、世の中で起きている出来事に関心を持ち、自分の感じたことや提言などを不特定多数の人が読む前提で、論理的な文章や意見文を書くことができる。

８．評価の視点

自分の思いや考えを率直に表現できるよう、論理的な文章を書くことができるか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

本校地球市民科の目標の獲得目標の一つに複眼思考（さまざまな角度からものごとをとらえるセンス）の獲得がある。複眼思考を養成する一つのきっかけとして新聞を使った学習を導入した。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①新聞記者を招いての「新聞オリエンテーション」（１時間）
　新聞の構成、新聞・記事ができるまでや新聞というメディアの特徴をお話いただいた。
②新聞投稿に挑戦（1時間）
　新聞記事を書くのも読むのも人間であることを念頭におきつつ、記者の視点に立って、記事を読み込み、自分の興味のあるテーマについて、意見文を書く。
③読売新聞社主催第7回編集手帳見出しコンテストに挑戦（1時間）
　「知的体力」（一つのものごとに対してあきらめることなく考え続ける力）を養成するため、文章を読んでその内容をわかりやすく他者に伝えるため、キーワード（見出し）をつける練習として実施した。
（留意点）
・初めて新聞に触れ合う生徒も多かったため、できるだけ生徒自身の考えや自主性を尊重した。
・投稿の題材選びには、身近な出来事だけでなく、どんな記事でもよいことを助言した。
・書いた文章を読むのは、身近な人だけでなく、不特定多数の人であることを繰り返し指導した。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

TVとは違い詳しく情報が載っているので頭に入りやすい。読み始めたら結構読めるもんだなと思った。
新聞は色々な人の思いが伝わってくるいいものだ。見る項目は限られていたが、授業を受けて広い範囲を読むようになった。など肯定的な意見が多く、楽しみながら授業を受けた生徒が多かったように感じた。

12．成果と課題

実践指定校初年度ということで、NIEを授業に取り入れていくことができたことは大きな成果であると考える。しかし、事後のアンケートでこの講座を受けて新聞に興味が深まり、継続して新聞を読みたいと回答した割合が約3割とまだまだ継続的に新聞を読んでいこうとする生徒が少ない。新聞に興味を持ち、授業のあるなしに関わらず、新聞と触れ合える生徒を育成していくことが大きな課題である。NIEを利用し、自分の考えを他者にわかりやすく、論理的に伝えることのできる生徒を育成できるようこれからも努力していきたい。